

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【経済産業省】

施策番号	27002	施策名		海洋エネルギー技術研究開発			
新規／継続	新規	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	
競争的資金		e-Rad	○	社会還元			
施策の目的及び概要	海洋エネルギーを活用した発電技術の実用化に向けての課題となっている高効率化、耐久性の向上、実海域での実証等を多角的に実施し、各種技術シーズの実用化を目指す。						
達成目標及び達成期限	平成27年度までに離島等での実用化を目指す。						
研究開発目標及び達成期限	平成27年度までの実用化技術については発電コスト40円/kWhを達成する。 平成32年度までの実用化を目指す技術については発電コスト20円/KWhを達成する。						
23年度の研究開発目標	本施策により、平成23年度中に ・実証海域の選定 ・実証研究に向けた要素課題の克服等 を実現する。						
施策の重要性	海洋エネルギーを活用した発電技術の海外市場への進出及び国内エネルギー対策のため、国内における発電技術の開発・蓄積を図る上で重要な施策である。						
実施体制	研究開発主体は公募により決定。得られた成果は大手造船会社、重工産業と技術ベンチャーのコンソーシアム等が実用化・普及の担い手となる予定。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
—				1,000			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				NEDO			
H23概算要求額の内訳	・事業費:980,000千円 ・研究開発管理費:20,000千円 —						
期間	H23～H27			資金投入規模(億円)			
これまでの成果(継続のみ)	—						
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	—						
昨年度優先度判定(継続のみ)	—	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)		—			
国民との科学・技術対話推進への対応(対象施策のみ)	アウトリーチ活動実施の具体化に向け検討中						